令和６年（2024 年）3 月 22 日　公表
令和５年版　山口県瀬戸内海側重要魚種の資源評価

カタクチイワシ（瀬戸内海系群）

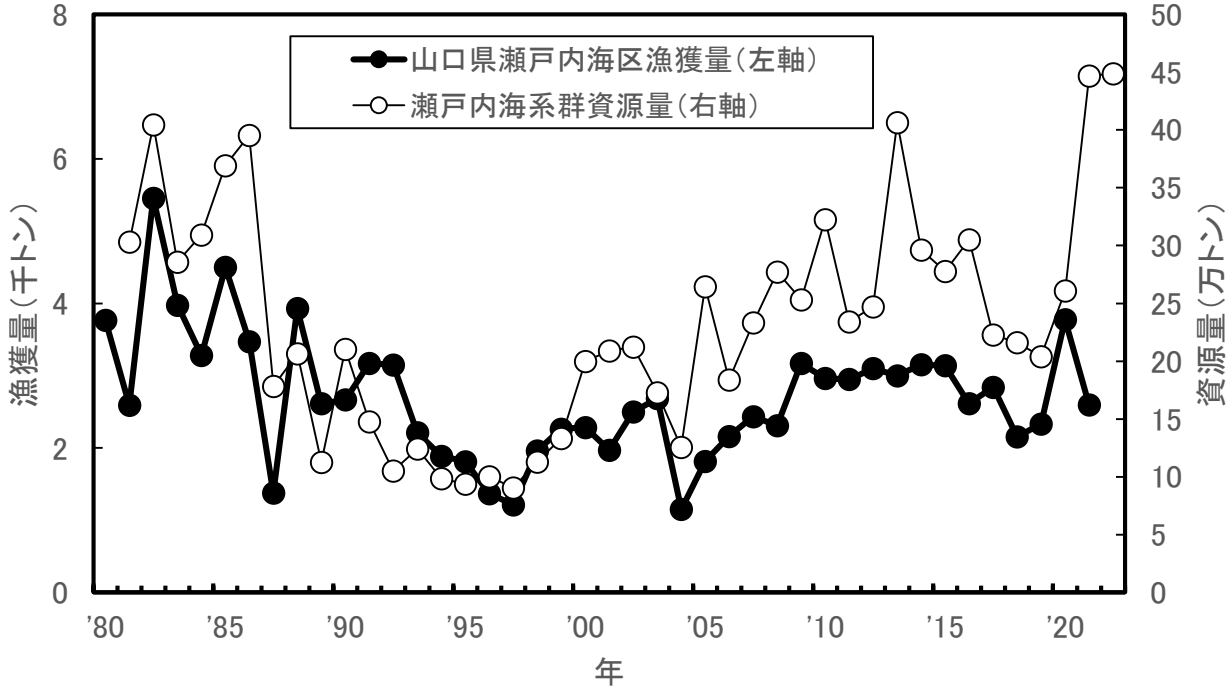

図　山口県瀬戸内海区カタクチイワシ漁獲量（農林水産省統計情報水産業調査 HP）及び瀬戸内海系群カタクチイワシ資源量（(国)水産研究・教育機構資源評価報告書）の推移

【漁業】カタクチイワシは主に船びき網で 6～11 月頃にかけて煮干原料として漁獲されるほか、冬季には、たもすくい網で鮮魚向けに漁獲される。なお、本県瀬戸内海区では基本的にシラスを漁獲対象としていない。
【漁獲量】本県瀬戸内海区の漁獲量は、1982 年の 5,456 トンから減少して 1995 年に 1,811 トンで評価期間における最低値となった後、変動を伴いながら緩やかに回復し、2021 年では 2,598 トンとなった。
【資源状態】資源量は、1987 年に急減した後、1997 年には 9.1 万トンまで減少した。その後は増加傾向を示し、2022 年には過去最大の 44.9 万トンとなった。
　2022 年の親魚量は最大持続生産量（MSY）を実現する親魚量（目標管理基準値案）の 2 倍以上であり、同年の漁獲圧も十分に低いため、資源状態の目安となる神戸チャートにおいて、2022 年は緑ゾーン（青信号）にプロットされた。

カタクチイワシ瀬戸内海系群の資源評価関連指標値等

2022 年 漁獲量	最大持続 生産量 (MSY)	2022 年 親魚量	目標管理 基準値(案)	限界管理 基準値(案)	禁漁水準 (案)
5.3 万トン*	3.9 万トン	9.6 万トン	4.3 万トン	1.7 万トン	0.2 万トン

＊ 農林統計値からシラスに相当する月齢分の漁獲量を除いた値